

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年07月16日

計画の名称	生きがいと魅力ある住みよい都市姫路（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	姫路市												
計画の目標	東日本大震災を教訓として、「安全・安心で快適な都市づくり」の観点から、東南海・南海地震等の大規模地震へ対応するため、都市の防災機能の向上を図り、自然豊かで快適な環境・利便都市の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	25	A	25	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 （H28当初）	中間目標値 （H29末）	最終目標値 （H30末）
1	姫路市で実施した大規模盛土造成地の抽出調査（第一次スクリーニング）結果を踏まえ、第二次スクリーニング計画に向けて滑動崩落の発生の可能性を検討するうえで重要になる長期の地下水観測等に重点を置いた安全性の確認のための調査を検討・実施する。 第一次スクリーニング調査の結果抽出した危険度及び優先度の高い大規模盛土造成地のうち、第二次スクリーニング調査実施の要否を判断するために必要な地下水位観測等の調査を実施した割合を測定する。	0%	65%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	宅地耐震化推進事業	地下水位観測等の調査、盛土 安全性検討	姫路市						25	-	
		旧要素事業番号：A-1																	
											小計						25		
											合計						25		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
姫路市において目標の達成状況と指標の達成状況を確認	令和元年7月
	公表の方法
	姫路市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	過去に実施した大規模盛土造成地の抽出調査結果箇所において、土質調査及び地下水位等の定期観測を行い、安定計算を実施し、すべての箇所において、第二次スクリーニング調査を完了し、対策工事の必要性はないと判断でき、安全性が確認された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面)

計画の名称	1 生きがいと魅力ある住みよい都市姫路（防災・安全）	交付対象	姫路市
計画の期間	平成28年度 ～ 平成30年度（3年間）		

